

フィリピン Philcement 社への出資について

住友大阪セメント株式会社（社長：諸橋央典、本社：東京都港区）は、フィリピン共和国において主にセメントの輸入、製造および販売事業を行う Philcement Corporation（以下 Philcement）の株式を取得する株式引受契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

フィリピンは、東南アジアの中でも目覚ましい成長を遂げている国の一つであり、近年では GDP 成長率が概ね 5～6% 台と堅調に推移し、人口も 1 億 1,000 万人を超えるなど、旺盛な経済活動が続いております。加えて、マルコス政権のもとで掲げられた大型インフラ計画「ビルド・ベター・モア」の推進により、セメント需要も増加しており、今後 10 年間はセメント需要が平均 5% 以上で成長すると見込まれております。

1. 出資の概要

出資先：	Philcement Corporation
本社所在地：	フィリピン共和国 バターン州 マリベレス
事業内容：	セメントの輸入、製造および販売（以下まとめてセメント事業）
当社出資比率：	15%
主要株主：	Phinma Corporation (以下 Phinma)

2. 出資の背景と目的

Philcement の主要株主である Phinma は、フィリピンの財閥企業であり、セメント事業の他に、教育、不動産、鉄鋼製品など幅広い事業を展開しております。

Phinma が Philcement を設立し、セメント事業への参入を表明したことを受け、当社は Philcement との協議を行い、2023 年末より同社とセメントに係る取引を開始いたしました。

その後、Philcement との取引規模が拡大したことに加え、同社がさらなる事業拡大を計画していたことから、当社は出資についての協議も進め、このたびの出資に至ったものです。

当社は、本出資を通じて、セメントに係る取引関係のみならず、技術交流や協力関係をさらに深化させ、両社の持続的な成長につながるパートナーシップを構築してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

住友大阪セメント株式会社 企画部 TEL 03-6370-2725

